

平成29年度「NPO共生・協働・かごしま推進事業」実施結果

(事業名) 始良市発！社会的孤立の状態にある一人ひとりに出番と居場所を創出するコミュニティメンター事業

実施主体

(団体名) 特定非営利活動法人 Lかごしま
(担当課名) かがしま県民交流センター男女共同参画推進課



背景

地域コミュニティには、障がいのある人、子育てや介護等生活上の困難を抱えている人、社会的孤立の状態にある人、生活困窮の状態にある人等多様な人々が暮らしているが、性別に焦点を当て人権尊重の深化を図る「男女共同参画の視点」を必要とする「見ようとしなければ見えない」人々の姿や状況が潜在している。一方、地域コミュニティには、このような困難な状況にある多様な人々を包摂する場であることへの社会的要請が高まっている。

地域課題

→地域コミュニティ活動の課題

経済的、精神的、時間的ゆとりがあり、身体的にも不自由さを感じる事のない人々を中心に行われる傾向



- ・若い世代のコミュニティ離れ等によるコミュニティ活動の担い手や参加者の固定化
- ・進まない方針決定の場への女性の参画
- ・住民ニーズを汲み取る生活課題解決型の活動より行事消化型の活動になりやすい傾向



共助の力を必要とする人々が地域コミュニティの活動に参加の機会を得られない、コミュニティに暮らす人々との関わりが持てない状況に置かれている。

事業のねらい

本事業で養成するコミュニティメンターを活用して、困難な状況にある多様な一人ひとりを包摂する場としての地域コミュニティづくりを目的とする。

※コミュニティメンターとは、人権及び男女共同参画のマインドを持ち、コミュニティにおける、特に困難な状況が想定される一人ひとりの心に寄り添い、コミュニティとの関わりを創出する人

事業概要

- 1 一人ひとりの人権が尊重される地域づくり講演会の開催**(始良公民館, 89名参加)
本事業の趣旨や内容等について説明をするとともに地域コミュニティにおける多様性を理解するための講演を実施
- 2 コミュニティメンター養成講座**(全5回実施, 延べ72名参加)
「一人ひとりの人権の尊重」意識の醸成と障がいがある人々への偏見をなくし、共生への理解を図るために必要な人材養成講座を実施
- 3 困難な状況にある人々のケア, 地域住民との交流の機会創出のためのイベントを実施**
(全3回, 延べ81名参加)
地域コミュニティの活動に参加の機会が得られない、又はコミュニティの暮らす人々との関わりが持てない状況に置かれている人々が、段階を踏んで「地域の人々とのつながり」をもてるような機会をつくる。
- 4 みんなの居場所「ひだまりカフェ」の開催**(全5回, 延べ47名参加)
困難な状況が想定される当事者の家族等が集える居場所であり、当事者家族にコミュニティメンターが寄り添い、ひとときの安息が得られる場を定期的に開設
- 5 みんなのフェスティバル ～私たち一人ひとりが大切にされる地域コミュニティ～の開催**(松原地区公民館, 約250名参加)
1から4までの取り組みを集約して実施。
気軽に気安く、男女共同参画、人権及び多様性を学ぶためのイベントの実施



成果

- 今後さらに社会的要請が高まる地域コミュニティづくりについて、コミュニティ・プラットフォームとしての地域コミュニティの組織性と機能性に関する概念及び地域コミュニティづくりの基本的な方向について関心と理解の浸透が図られた。
- 本事業の中核となる「コミュニティメンター養成講座」により、一定の人権及び男女共同参画に関する知見とマインドを有し本事業に協働する個人に対し、必要な知見と情報の提供を行い、人材を養成した。
- 制度化された居場所づくりが、その参加者を固定化し包摂すべき当事者の参加の広がりを欠く現状についての実感的問題意識の共有を図ることができた。
- 一人ひとりに得られる達成感が自己肯定感につながる農業体験が困難を抱える人のケアに有効であることの手応えを得た。
- 本事業を通じて「一人ひとりの人権の尊重」について実際的理解が共有され、本事業がめざす「一人ひとりが大切にされ、誰もが出番と居場所のある地域コミュニティづくり」への需要を掘り起こすことができた。



協働の状況

- ・ 特定非営利活動法人しかごしま／事業企画, 運営, 広報, 事務手続き等
- ・ 特定非営利活動法人あいら子育て・地域支援情報局みちみち／事業企画, 運営, 広報等
- ・ 前田三枝子(野菜直売所四季菜代表)／事業企画, 運営, 広報, 畑・苗の管理, 食材の提供
- ・ 新福愛子(鹿児島県男女共同参画地域推進員)／事業企画, 運営, 広報等
- ・ かがしま県民交流センター男女共同参画推進課／事業企画, 運営, 広報等
- ・ オフィス・ピュア／事業アドバイス, 講座等講師
- ・ 始良市男女共同参画課／運営, 会場手配, 広報等
- ・ 松原なぎさ校区コミュニティ協議会／広報への協力, 会場提供, 事業への参加等
- ・ 始良市社会福祉協議会／広報への協力, 事業への参加
- ・ ひまわりハウス運営協議会／広報への協力, 会場提供, 事業への参加等
- ・ 竜門校区コミュニティ協議会／イベント実施への協力, 広報への協力等
- ・ 始良市民生委員児童委員連絡協議会／広報への協力, 事業参加
- ・ 松原地区公民館／会場提供, フェスティバルでの会場設営等の協力, 広報への協力
- ・ 各ひまわりハウス(市内9カ所)／フェスティバルへの展示参加
- ・ 鹿児島県男女共同参画地域推進員／事業への参加, 広報への協力
- ・ あいらびゅーFM／広報への協力
- ・ 始良・伊佐地域NPO法人ネットワーク, 始良市NPO協働ネットワーク／広報への協力

今後の取組

- ・ 始良市発! のコミュニティメンターの活動が継続的に行われることにより, 活動の場となる包摂性, 受容力の深化により, さらに顕在化が予測される社会的孤立状態・生活困窮状態にある人等の多様で複雑な困難に対応するため, コミュニティメンターの活動からつなぐソーシャルワークのあり方について「一人ひとりの寄り添い支援」のなどの観点から実践的学習の深化を図り, 研究を行うとともに, ネットワーキング(県内各地への波及・横への展開)を図る。
- ・ 本事業の実施により実感の手応えが共有された, 自然での開放感の中での農業体験が困難を抱える人のケアに有効であることについて, 引き続き実験的試行に取り組む。
- ・ 「一人ひとりに身近な共同学習」の場の包摂性が「出番と居場所」づくりの拠点となり得ることについて, 地域コミュニティにおける生涯学習, 公民館講座等との協働の方向に関する検討・研究を行う。
- ・ 「地域で身近に男女共同参画を進める」ことと, 地域コミュニティづくりの不可分性を踏まえ, 地域コミュニティづくりにおける「男女共同参画の視点」による課題性をよりクリアに提起し, 実施事業に反映する。



協働事業の感想

団体からの声

行政・市民活動団体・地域, それぞれの専門性や特性が十分に発揮された結果, 各事業に参加された方々一人ひとりにその目的が伝わり, 効果が高まった。今後も多様な主体の協働により地域づくりを深めていきたい。

担当課からの声

多様な一人ひとりが包摂される地域コミュニティづくりに向けて進めてきましたが, 事業に参加された方等の意識の変化に触れる機会があり, 事業の成果を実感しました。また, 事業の実施にあたっては, 団体, 個人の方々等多くの方に力をいただき, それぞれの立場からの取り組みによって, 協働が発揮されました。この成果を踏まえ, 今後も始良市内での事業の浸透, また他地域への波及を図るため, 取組を継続していきます。